

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 肇

春植え球根の栽培

経営的特徴

球根類は、一般的に栽培期間が短く、育成に労力がかからない植物です。ただし、種苗費（球根代など）が高いため、他の花と比べると費用がかかるという特徴があります。

春植え球根栽培のポイント

▼グラジオラス

4～5月にかけて露地に順次植え付けを行い、7～8月に切り花にし、出荷します。また球根を冷蔵し6月以降に植え付け、開花をずらすという栽培方法もあります。

肥料は、基肥に窒素やリン酸、カリを成分量で1アール当たり1～1.5キログラム施用します。

グラジオラスは倒伏（風や雨で倒れること）すると茎が曲がり、品質が低下するため、必ずフラワーネットを張りましょう。



▼シンテツポウユリ

球根類ですが、1年目は苗植えをします。4月下旬から5月上旬（高野町など標高の高い地域は遅霜の恐れがなくなつてから）に苗を植え付け、8月～9月頃に切り花・出荷をします。

2年目からは前年に栽培した球根を使用して、再び切り花にすることができます。

肥料は窒素やリン酸、カリを成分量で1アール当たり1キログラム程度を施用し、生育状況を見ながら追肥として、同じものを1キログラム程度を施用します。

球根を使用している2年目栽培では、肥料が多過ぎると茎が大きくなりすぎる特徴があるため、肥料は控えめにしましょう。

また、病気では葉枯れ病、害虫ではアブラムシに注意が必要です。

▼カラー

チルドシアーナ種という白い花が咲くカラーを紹介しします。湿地栽培が一般的ですが、灌水（人工的に水を与えること）を怠らなければ、畑などでも栽培が可能です。6月頃に植え付けますが、土壌には肥料よりも堆肥をしっかりと入れておくことが大切です。

問い合わせ

農業振興課 農業振興係
0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しします。まちを知り、地元の新魅力を発見すること、人を、まちを、もっと好きになりますように。



高野町で飲食店と農産加工グループを営んでいる出口 富子さん

高野町と南原地区唯一の飲食店を営み、地域の女性たちとさまざまな活動を続けている出口さんに話を聞きました。

高野町で暮らす

私は高野町で生まれ育ち、約2年間ほど就職で町外に出ましたが、結婚を機に帰ってきて以来、ずっと高野町で暮らしています。

結婚後は子育てが忙しく、また大根農家としての仕事に追われ、高野から出て都会で暮らしたいと思う時間はありませんでした。

今から34年ほど前、このまま大根農家を続けるのか悩み、夫婦で話し合っていました。近所の同級生2人を誘って飲食店にチャレンジすることを決めました。近所の同級生2人を誘って飲食店を立ち上げました。その2人は数年前に年齢を理由に引退し、現在は1人で営業しているので、自分の都合

に合わせてお店を開けています。

私も高齢になったのでそろそろ閉めようかなと考えることもありましたが、地域の人たちが「お店がなくなつたら困る！」と言ってくれるので、もう少し頑張ってみようと思っています。

楽しみな時間

飲食店を開くより前から続けているのが、大根の加工です。地域の女性たちと、規格外の大根や切れ端を有効活用できないかと考えていたところ、切り干し大根にすることを思いつき、加工グループを作りました。今では切り干し大根だけでなく、はりはり漬けや混ぜご飯の素も作って、道の駅に出荷しています。

メンバー全員が高齢になりましたが、やめようという言葉は誰からも出ません。作業を1時間して、そのあと2時間くらいお茶をしながら、みんなで話するのが楽しいので続けることができている。こういう人たちが周りにいて、気軽に声を掛け合っているのが、この町で暮らしている一番の理由だと思います。

問い合わせ

自治定住課定住推進係
0824・73・1257